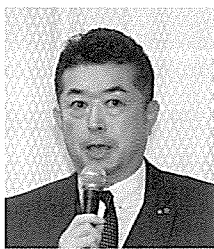


尾張北支部

親睦忘年会開催

尾張北支部(中野兼司支部長)は、12月16日(金)午後6時30分より、キャッスルプラザ(名古屋市中村区)で、会員54名が出席して忘年会が開かれました。来賓として協会専務理事 渡邊 修氏、事務局 局長 小坂元信氏が出席しました。

中野支部長は挨拶で「先般、協会の災害廃棄物処理対策に関する特別委員会で熊本地震災害を視察しました。協会員と行政がしっかりと連携して取組まれている様子を見て素晴らしいと



挨拶をする中野支部長

思いました。当協会でも熊本県産業資源循環協会を参考にして、行政と顔の見える取組を実現させていって欲しいと痛感しました。」と述べました。渡邊専務理事からは、ダイコー問題における撤去作業の協力に対してのお礼の言葉と、今後の適正処理の周知について機会あるごとに啓発を行う姿勢であることを話されました。その後、副支部長 鈴木隆真氏の乾杯の発声の下忘年会の会食が始まりました。

余興ではフラダンスやポールダンスショーがあり、各テーブルでは食事を楽しむ声と共に、初めて対面する会員の方々は名刺交換を行っていました。支部行事により人脈の広がりがあり、業務の広がりにつなげられる良い機会となつてこそ、支部事業の役割でもあります。会員の支部への期待を感じさせるような忘年会でした。

